



社内報

株式会社 クリエイティブサポート・M・C

社長の言葉

皆様、明けましておめでとうございませう。本年も宜しくお願い致します。

お正月は、健やかに過ごされましたでしょうか。正月とはよく言ったもので、年の初めの月に正しいことを考えるという意味です。1月に正しいことを考え、2月以降、その正しい考えを正しい行動として一年間行っていく、その根本になるのが「正月」です。

是非、「心と体の健康を促進し、感動の人生を創造する」という理念のもと、方針計画書に記したことを実行して、全員で目標達成して、全員で幸せな一年としていきましょう。

話は変わりますが、昨年の私の誕生日 60歳 還暦を祝って頂きました。誠にありがとうございます。

赤い服を着て、若い人に囲まれて、いよいよお爺さんになったという気持ちになりました。

「少年老い易く学成り難し」という言葉がありますが、いよいよその時が来たことを実感した日でした。

私は高校を卒業して岡山で就職したとき、岡山の人から「青年」というあだ名をつけられました。当時の不良は、「かつたるい」がカッコ良い中、私は活動的に動いていたので、周囲から元気に思われて、「若いなあ、青年だな」から来たようにです。その青年もあつという間に 60歳です。人生はあつという間です。

人生はそんなに長くはないのです。私ほど寝る間もなく、休む間もなく、焦って生きてきた人間が言うので間違いありません。やりたいことはするべきだし、仕事も遊びも、正しいことはどんどんやるべきです。私は若い時は相田みつを先生の詩が嫌いでした。よく居酒屋のトイレとかに貼ってある詩です。ゆっくりとか、焦らずとか、ぼちぼちとか、人間だものとか、それを見るとイラっとして「こっちは忙しいんだよ」と怒っていました。

若い人は、焦って生きるべきだと思います。あれもしたい、これもしたい、今しなきゃと焦りをもって、どんどん行動してほしいと思います。



従来通りのやり方とか、マニュアルに沿っての対応も大事だと思いますが、それにプラス、こんなことをやったら喜ばれるのではないか、こうしたらもっと仕事が楽しくなるんじゃないか、こんな企画をしたら利益が上がるのではないかと、どんどん挑戦してほしいです。

上司の皆さんは、それが実現できるようにフォローしてほしいと思います。

私が勉強した論語の孔子は、

「子曰く、吾十有五にして学に志す。三十にして立つ。四十にして惑はず。五十にして天命を知る。六十にして耳順ふ。七十にして心の欲する所に従ひて矩（のり）を踰えず（こえず）」

と言われました。

「15歳で立派な人間になろうと夢を持ち、勉強を一所懸命にした

30歳の時に仕事が出来るようになった

40歳のころになると迷わず意思決定が出来るようになった

50歳にして自分は何のために生きているのか、何のために

仕事をしているのか、自分の使命を知ることが出来た

60歳になって、ようやく人の考えや意見を素直に聞くことが

できた

70歳になって、思ったことが、思うように実現するように

なったが、まだまだ立派な人間になっていない」

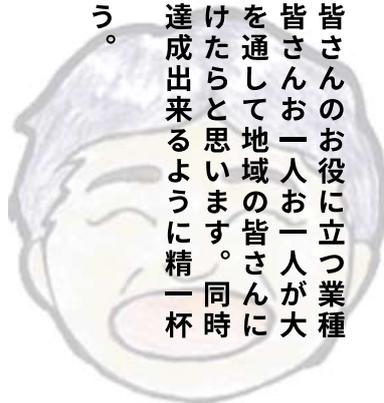
と言われました。まさにその通りだと思えます。

一所懸命とは一つの所で懸命に頑張っていくことです。

是非、皆さんも我が社に誇りをもって長く勤めて頂きたいと思えます。

クリエイティブサポートは、地域の皆さんのお役に立つ業種はどんどん営業展開していきます。皆さんお一人お一人が大切な人財です。お一人お一人が仕事を通して地域の皆さんに愛され、お客様の幸せを提供して頂けたらと思います。同時に、皆さんの物心両面の幸福実現も達成出来るように精一杯頑張ります。

今年も全員で良い年にしていきましょう。





健康 ボクシング 大会



10月25・26日に境港のみなとテラスで、
第23回健康ボクシング大会が開催されました。
全国から多くの選手・チームにご参加いただきました！
参加者の熱いエネルギーとボクシングへの情熱により、白熱した戦いが繰り広げられ、大会が大いに盛り上がり、無事成功を収めることができました。
事前準備から当日のお手伝いなど多くの方にご協力いただき、無事に大会を運営することができました。
ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。



カーブス 部門会議



12月25日にカーブス津山西でカーブス部門会議が開催されました。正社員からパートまでの全コーチが集まり、『2026年はこんなクラブを作る』を各店舗で考え発表し合いました！また、サービス力アップのためにメンバーさんへの声掛けやマシンサポートのロープレなどを行いました。
お昼休みは全員でコメダでランチを食べ、また、部門会議後には由紀専務、林君（メソズ）のお誕生日のお祝いもさせていただきました🎉
全員で集まったことで、より一層クリサポCの一体感が高まりました！
今後は、部門方針である、『私たちが看板！私たちが商品！』を目指して1人1人がコーチ感を高めて店舗作りを進めていきたいです！